



# BUSINESS REPORT

## 第2期報告書 2021年4月1日▷2022年3月31日

リズム株式会社

証券コード:7769



<https://www.rhythm.co.jp/>  
詳しくは当社WEBサイトで  
ご覧いただけます。

SNSでも情報をお届けしています。



Facebook  
<https://www.facebook.com/rhythm1950/>



Instagram  
[https://www.instagram.com/rhythm\\_1950/](https://www.instagram.com/rhythm_1950/)



Twitter  
[https://twitter.com/rhythm\\_1950](https://twitter.com/rhythm_1950)



YouTube  
<https://www.youtube.com/channel/UCGiB2zquPKU4Hrb-Jhpb1bg>

株主の皆様へ

### 新たに策定した中期経営計画を確実に遂行し、 リズムグループの持続的成長を実現させます

代表取締役社長 **平田博美**



#### 2021年度(2022年3月期)決算の概要

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。2021年度の当社グループの経営成績につきましては、個人消費の低迷などを受け、生活用品事業の業績は回復途上となったものの、精密部品事業の堅調な受注に支えられ、全体では好調に推移いたしました。売上高は、299億99百万円(前期比9.9%増)、営業利益は、8億92百万円(前期比180.5%増)となりました。これらの結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、10億31百万円(前期は12億62百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)となり、3期連続の最終赤字から黒字転換を達成いたしました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中期経営計画(2019-2021年度)最終年度となる2021年度におきましては、計画の修正を余儀なくされ、昨年度1年間を2022年度からの中期経営計画に繋がる「飛躍へ向けた基盤づくり」を地道に進めてまいりました。今後の成長戦略の実現・加速化に繋がる取組が実行できたものと考えております。

#### 中期経営計画(2022-2024年度)のスタート

2021年度に黒字転換を果たし、迎えた新たな中期経営計画(以下、「本中期経営計画」)の初年度となる2022年度は、当社グループにとって非常に重要な1年です。昨年度1年間をかけてグループ全体で作り上げた計画を実行に移し、成長軌道に乗せていかなければなりません。本中期経営計画の方針、戦略等詳細につきま

しては、次ページに記載しておりますのでぜひご覧ください。

#### 新市場区分「プライム市場」を選択

2022年4月からの東京証券取引所の市場区分変更に伴い、当社は「プライム市場」を選択いたしました。グローバルに事業を展開する当社は、国内外投資家から注目されるプライム市場上場企業として今後活動を行ってまいります。なお、移行基準日時点におきまして、一部、上場維持基準を充たしておらず、2021年12月に「上場維持基準への適合に向けた計画書」を提出しております。計画期間は本中期経営計画最終年度の2025年3月末までとし、業績向上による時価総額の向上やより高い水準のガバナンスが求められる改訂コーポレートガバナンス・コードへの対応を進めてまいります。

#### 株主還元への向上

当期の期末配当は1株当たり37円50銭といたしました。配当基本方針は、配当性向30%以上、一株当たり配当金30円以上としており、業績、手元資金、投資の状況に応じて更なる配当についても今後検討してまいります。自社株買いなどの検討も含め、総還元性向の向上に努めてまいります。

今後も皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

売上高

299億99百万円  
(前期比9.9%増)

営業利益

8億92百万円  
(前期比180.5%増)

親会社株主に帰属する  
当期純利益

10億31百万円  
(前期は12億62百万円の  
親会社株主に帰属する当期純損失)

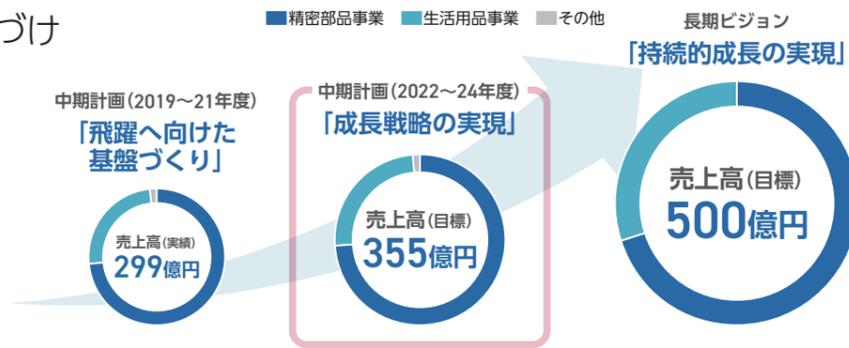
1株当たり配当金

37円50銭  
(前期30円)

# Medium-term management plan 中期経営計画(2022-2024年度)

## 1. 中期経営計画の位置づけ

当社グループは、長期ビジョン「もの造りで圧倒的な強さを発揮し、自ら変化を作り出す企業へ」の実現に向けて、本中期経営計画の3年間を成長戦略の実現フェーズと位置づけ、持続的成長と企業価値向上に努めてまいります。



## 2. 経営目標

売上・利益計画	2024年度(計画)
売上高	355億円
営業利益	20億円
経常利益	22.5億円
親会社株主に 帰属する当期利益	16億円

財務指標	2024年度(計画)
営業利益率	5.6%
ROE	5.6%
海外売上高比率	48%
車載関連売上高	120億円

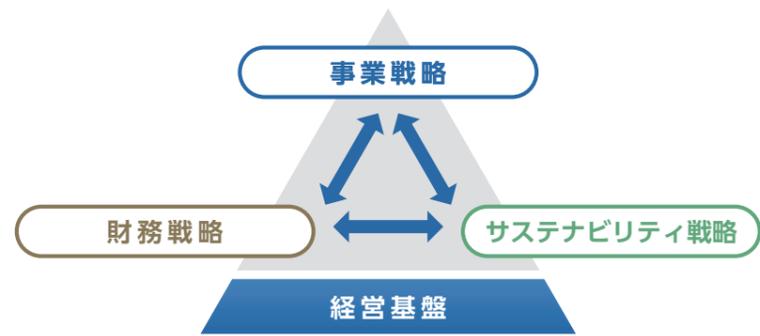
非財務指標	2024年度(計画)	2030年度(計画)	2050年度(計画)
CO <sub>2</sub> 排出量削減※	—	30%減	実質ゼロ
女性従業員比率	25%以上	—	—

※削減割合は2018年度比、削減対象はスコープ1+2とする。

## 3. 基本方針・戦略

事業・財務・サステナビリティの3つの経営戦略とそれらの実現を支える経営基盤の強化を戦略の骨子としております。

精密部品事業を成長ドライバーと位置づけ、全社的成長を加速するとともに、事業戦略のキーとして「海外」「車載」「快適品」の拡大を目指してまいります。



### 事業戦略

方針 製販技一体戦略による成長領域の拡大

#### 【精密部品】

- 車載関連事業の拡大
- 超高難度精密技術による成長領域の拡大
- グループ間連携によるコスト競争力強化

● 海外事業の拡大

#### 【生活用品】

- 新たな柱となる快適品事業の確立
- クロック事業の維持・効率化
- D2C販売の強化

### 財務戦略

方針 事業成長重視の戦略的投資と株主還元の上向

- 資本コスト・事業ポートフォリオ評価を踏まえた戦略的な投資判断
- 積極的な成長事業投資と株主還元の上向の両立を実現

### サステナビリティ戦略

方針 事業・企業活動を通じた社会価値創出

- サステナビリティ推進体制の構築
  - サステナビリティ委員会を中心とした2テーマへの取組
- 【環境】 電力使用量削減によるCO<sub>2</sub>排出量の削減
- 【D&I】 ジェンダーギャップ解消・多様な人材の活躍

### 経営基盤

方針 経営基盤の更なる強化による戦略実現サポート

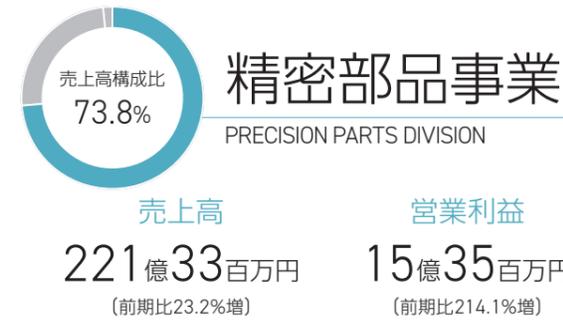
【人材】 人材育成、働きがいの向上

【IT】 ITインフラの最適化

【SR※】 コミュニケーション強化

※Stakeholder Relations:ステークホルダーとの関係

# Segment Overview セグメント別の概況



国内では、半導体製造装置向けなどの産業機械部品の受注が好調に推移しました。また自動車(HV/EV)関連の新規部品立ち上げや新型コロナウイルス感染症の巣ごもり需要によるエアコンをはじめとした家電の買い替え需要に支えられ、関連部品の受注も好調に推移しました。原材料の入手難や価格高騰による生産活動への影響は継続しておりますが、年間を通して堅調に受注できたことから、増収増益となりました。

海外では、新型コロナウイルス感染症拡大によって、ベトナム、インドネシア拠点が一時的に生産活動の制限を受けましたが、第3四半期以降は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に受注は回復しました。また、中国、シンガポール拠点においても、自動車や家電関連部品の受注が堅調に推移したことから、全体でも増収増益となりました。

これらの結果、精密部品事業全体では前期と比べ増収増益となりました。

#### 主な事業内容

- タブ端子・テーピング端子・端子台など、自動車、太陽光発電、電動アシスト自転車や家電製品に使用される接続端子等の製造販売。
- 産業機械、光学機器、事務・通信機器、自動車、時計等に使用される精密部品、高難度精密金型の製造販売。
- 電子機器等のEMS、情報関連機器、車載関連機器、加飾複合品の製造販売。



国内では、新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和など部分的には回復の兆しは見られたものの、年間を通じて緊急事態宣言やまん延防止措置等重点措置による行動制限の影響が続いたことから、店舗販売が大きく低迷しました。また、世界的な半導体不足に起因した売れ筋商品の生産の遅れや、原材料価格の高騰、円安による仕入価格の上昇など、複合的に要因が重なった結果、減収営業損失となりました。

海外においては、一部地域を除いて新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和が進んだことから、香港、米国拠点における販売は好調に推移し増収となりました。しかしながら、中国における人件費、原材料価格、物流費の上昇を吸収するには至らず、営業損失となりました。

これらの結果、生活用品事業全体では、減収営業損失となりました。

#### 主な事業内容

掛時計・置時計・目覚時計、デジタル時計、設備時計などのクロック、クロックムーブメント及び防災行政ラジオ、USBファン、加湿器などの製造販売。



## TOPICS 2021.4—2022.3 トピックス



近年の精密部品事業拡大に伴い、手狭になった五所川原工場の増築工事が無事完了し、2021年4月に落成式を迎えました。



2021年12月に元浦和レッズ選手を含むコーチたちによる小学生向けサッカー教室を開催し、地域社会・地域の人びととのコミュニケーションを深めました。

NEW

NORDIC FEELING YURAKUCHO 内に「RHYTHM STORE」オープン

2022年4月にグループ会社アイ・ネクストジーイーの直販店舗内に「RHYTHM STORE」をオープンいたしました。リズムのカッコウクロック全モデルなどを販売しております。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

## 第2期定時株主総会決議ご通知

当社第2期定時株主総会において下記のとおり報告並びに決議されましたのでご通知申し上げます。

### 記

報告事項	1. 第2期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件	
	2. 第2期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)計算書類報告の件	
決議事項	第1号議案 剰余金の処分の件	本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金は1株につき37円50銭と決定いたしました。
	第2号議案 定款一部変更の件	本件は、原案どおり承認可決されました。なお、本件は、株主総会資料の電子提供制度導入に備えるため、並びに監査等委員である取締役の員数の上限を1名増員し5名以内とするため、所要の変更を行うものであります。
	第3号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)5名選任の件	本件は、原案どおり承認可決され、取締役(監査等委員である取締役を除く。)に平田博美、湯本武夫、山崎勝彦、荒井雄司、宗像恭典の5氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
	第4号議案 監査等委員である取締役5名選任の件	本件は、原案どおり承認可決され、監査等委員である取締役に酒井清貴、山下和彦、鈴木欽哉、奥野泰久、内田ひとみの5氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

以上

## Company and Stock Information 会社・株式情報

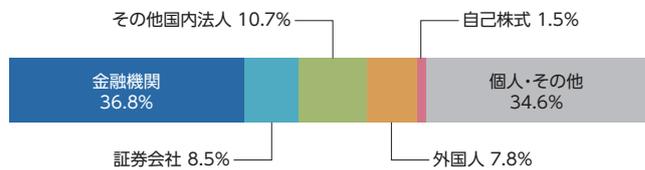
### 会社概要 (2022年3月31日現在)

社名	リズム株式会社
設立	1950年11月7日
資本金	123億7,284万円
従業員数	連結2,720名 単体450名
主要営業品目	各種クロック・ウォッチ・接続端子部品・精密金型・成形部品・情報機器・車載機器・電子部品・その他精密機械各種
本店所在地	〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町一丁目299番地12 電話：048(643)7211(代表)
役員 (2022年6月22日現在)	代表取締役社長 平田 博美 取締役副社長執行役員 湯本 武夫 取締役常務執行役員 山崎 勝彦 管理本部長 取締役執行役員 荒井 雄司 営業本部長 取締役執行役員 宗像 恭典 生産本部長 取締役(監査等委員) 酒井 清貴 取締役(監査等委員) 山下 和彦 取締役(監査等委員) 鈴木 欽哉 取締役(監査等委員) 奥野 泰久 取締役(監査等委員) 内田 ひとみ 執行役員 岩淵 秀一 執行役員 木村 務 執行役員 北嶋 芳一 執行役員 山本 典久 執行役員 呉 国明 執行役員 貞末 浩 執行役員 吉川 泰弘 執行役員 相澤 竜也

### 株式情報 (2022年3月31日現在)

株式状況	発行可能株式総数	18,522,900株
	発行済株式の総数	8,385,093株
	株主数	8,177名

### 所有者別株式分布状況



### 株主還元策について

配当基本方針：配当性向30%以上、一株当たり配当金30円以上  
上記方針に基づき、当期の期末配当は1株当たり37円50銭といたしました。

### 株主メモ

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問合せ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

## リズム株式会社

### お問い合わせ先

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町一丁目299番地12  
TEL.048(643)7211(代表) <https://www.rhythm.co.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。